

葬儀や墓、遺言 生前に準備

札幌市内の行政書士や葬儀業者らが「終活支援センター」(佐久間三男代表、札幌)を発足させ、来春の本格的な活動開始を目指して準備を進めている。葬儀や墓、遺言など幅広い相談に応じ、必要なら専門家を紹介するワンストップ窓口を目指す。

(藤田香織里)

行政書士、葬儀業者のほか霊園、高齢者住宅の事業者ら計11人で今年6月に発足。NPO法人認証を申請している。

行政書士、事業者が「センター」

同センターによる人から相談を受ける事と、少子高齢化の進展例も一般化しつつあるや、親族付き合いの希が、墓の確保や財産の薄化などから、残され整理、遺言書作成など、た親族の負担を軽くす幅広い分野で相談先がるためや、自分の葬儀必要となる。そのため、を希望するスタイルでワンストップ窓口を設

ズに感じられるようにする。また、葬儀などに関する市民セミナーや墓地、散骨などの見学会も行う予定。

鈴木全明副代表(64) 葬儀会社セレモニー

来春から本格活動

専門家紹介も 多様なニーズに対応

行ってほしいとの考えから、終活を実際に行う人は目立つ。また、通夜や告別式を行わず、火葬するだけのシンプルな葬送スタイル「直葬」も増えている。葬儀業者が生前、本

けることにした。来年3月の相談受け付け開始を目指して、道内各地の葬儀会社や、社会福祉士ら専門家を対象に、賛助会員として相談対応への協力を求め、多様なニ

きょうどう社長は「各分野に詳しい立場で、責任を持って対応する窓口になりたい」と話している。問い合わせは同センター ☎090・7659・0881へ。

終活

支援します